

# 政策シート

(政策名) 新規創業や新事業展開の促進  
(予算費目名) 産業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

◇政策の概要

本市の基幹産業である輸送用機器関連産業に次ぐ新たな産業を創出するため、ベンチャー企業と既存ものづくり企業とのコラボレーションでイノベーションを起こすべく「浜松バレー構想」の実現を目指して、ベンチャー企業への支援を行う。また、リーマンショック以降、廃業率を下回っている開業率が再び上回り、“産業のまち・浜松”を取り戻すべく、創業希望者への支援を行う。

※令和2年度より、首都圏ビジネス情報センター事業、ベンチャー企業誘致事業、産業振興運営経費を「政策名：新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現」から移行。

◇関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	④教育								
--------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	154,055	584,792				
決算	138,033					
人件費(A)	82,600	90,440				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	220,633	675,232				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
創業支援事業に伴う新規創業数(法人+個人) 【累計】(H28~R6)	件	目標	—	1,785	2,155	2,535	2,925	3,325
		実績	1,465					
ベンチャー企業の創業数	社	目標	—	10	15	20	25	100
		実績	R2.8頃確定					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

ベンチャー企業へのヒト(コミュニティ形成等)、モノ(サテライトオフィス、トライアルオフィス等)、カネ(ファンドサポート事業や実証実験サポート事業等)、情報(HAMACTI等)の支援を行った。舞阪サテライトオフィスについては3社4室の入居に成功した。創業支援の中心総合窓口機能を持つ「はままつ起業家カフェ」では4名の相談員による相談対応を行い、相談者の創業に成功したほか、インキュベーション施設HI-Cubeへの入居5年未満の企業に対し、家賃補助やインキュベーションマネージャーによる経営・技術支援等についてのアドバイス支援を行った。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
------	------

ベンチャー企業支援として、新規にファンドサポート事業で認定VC9社・VB3者1億5千万円、実証実験サポート事業で5事業を採択した。また、コワーキングスペース整備補助で2事業を採択した。ベンチャー企業誘致として、舞阪SOに3者4室の誘致に成功した。ベンチャー経営塾に14名が参加した。本市のベンチャー支援のまとめサイトとしてHAMACTIを立ち上げ、随時情報発信している。はままつトライアルオフィスの運営方法を9月から変更し、イベントの開催等、多くの利用者を数えている。1月には天竜サテライトオフィスを開設した。「はままつ起業家カフェ」では、1,201件の相談を受け、114件の創業を支援した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	創業支援事業	○	○	○		586,961	541,181	6.5				0.1
2	首都圏ビジネス情報センター事業	○	○	○		28,012	14,012	2.0				
3	ベンチャー企業誘致事業	○		○		33,161	27,001	0.6				0.7
4	産業振興運営経費(一般諸経費のみ)					27,098	2,598	3.5				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						675,232	584,792	12.6				0.8

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 創業支援事業

## ◇事業目的・事業対象

ベンチャー企業の成長を後押しするための各種事業に取り組み、新たなビジネスや製品の創出を図る。また、浜松市創業支援事業計画に基づき、独立・起業に関心のある人や創業希望者を対象にした、ワンストップ型の創業支援窓口「はままつ起業家カフェ」を運営し、創業件数の増加を目指す。

## ◇事業の概要

- ①インキュベート入居者支援…HI-Cube入居者への賃料補助(補助率1/2)やインキュベーションマネージャーを通じた入居者支援を実施。
- ②次世代起業家育成…地元企業の創業者等が地域の小中学校、高校を訪問し、出前講座を実施。
- ③高校生ビジネスプランコンテスト…静岡理科大学との連携により、全国の高校生を対象としたビジネスプランコンテストを実施。
- ④浜松ベンチャー連合意見交換会…地域ベンチャー企業の意見交換の場を設け、情報共有、協業などコミュニティづくりを支援。
- 【R1-R4重点戦略項目No.8】
- ⑤ファントサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、同額の交付金を交付。(上限5000万円、医療系は7000万円)
- ⑥実証実験サポート事業…全国のベンチャー企業から実証実験プランを募集し、優れたものを本市が全面的に支援をして実施。
- ⑦ベンチャー支援アドバイザー…本市のベンチャー支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。
- ⑧ベンチャー経営塾…ベンチャー企業の経営者や大学生などを対象に、戦略的な経営を学ぶ講座を実施。
- ⑨ものづくり coworkingスペース整備事業費補助…ものづくりワークを整備する民間事業者への補助(補助率1/3、上限2000万円)
- ⑩ものづくり×ベンチャーによるイノベーション創出促進事業…市内のものづくり企業と全国のベンチャー企業の協業を支援。
- ⑪ベンチャー企業等DX推進事業…市内企業のDX(デジタル技術の導入)を支援。
- 【R1-R4重点戦略項目No.7】
- ⑫はままつ起業家カフェの運営…浜松地域の各創業支援機関の創業支援総合窓口である「はままつ起業家カフェ」を運営。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など	○	○	○

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	94,986	541,181				
	決算	87,104					
	国・県支出	2,238	14,106				
	市債						
	その他	1,312	1,237				
	一般財源	83,554	525,838				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		42,700	45,780				
人工	正規	6.1	6.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1				

## ◇SDGsとの関連

### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.1,8.2,8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

市内ベンチャー企業等の資金調達手法の拡大や、製品開発のための実証実験、経営力アップ等の支援を通じて、新しいビジネスの創出、技術力の向上、事業拡大につなげ、地域内における新しいイノベーションの創出を促進する。また市内の創業支援機関と連携し、「はままつ起業家カフェ」で地域一体となった創業支援を行うことで創業件数を増加させ、地域内の雇用創出を促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
法人開業数(件)【R1~累計】							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	850	1,700	2,550	3,400	4,250	5,100
実績値	—	R2.9頃確定					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
創業支援事業に伴う新規創業者数(法人登記数)(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	115	120	125	128	130	130	130
実績値	120	130					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
ベンチャー企業の創業数(社)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	10	15	20	25	30
実績値	—	R2.8頃確定					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市内企業に対するベンチャーキャピタルの投資額(百万円)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	190	500	1,000	1,500	2,000	3,000
実績値	—	R2.8頃確定					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
創業支援事業に伴う新規創業者数(法人+個人)(件)【H28~累計】							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	1,785	2,155	2,535	2,925	3,325
実績値	1,075	1465					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
受講生と企業のマッチング成功件数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	15	20	事業終了				
実績値	33	21					

## ◇令和元年度の事業評価

### ・令和元年度の事業の概要

#### 【R1-R4重点戦略項目№7】

- ①はままつ起業家カフェの運営
- ②創業者支援施設の入居者への支援:HI-Cube入居者に対する支援
- ③小中高校生向け起業家育成講座
- ④高校生ビジネスプランコンテスト等
- ⑤ベンチャー企業集積促進情報発信:ウェブメディアを活用し、本市に拠点を置く優位点を情報発信
- ⑥浜松自動運転やらまいかプロジェクト:公共交通空白域の解消に資する自動運転車両の開発に向けた実証実験等の実施
- ⑦浜松ベンチャー連合意見交換会:ベンチャーコミュニティの創出を目的とした意見交換会の開催

#### 【R1-R4重点戦略項目№8】

- ⑧ファンドサポート事業:市が認定するVCから市内ベンチャー等への投資に対して交付金を交付
- ⑨実証実験サポート事業:全国のベンチャー等から実証実験の実施を公募。本市での実証実験の実施をサポートする
- ⑩ベンチャー支援アドバイザー
- ⑪ベンチャー経営塾:ベンチャー企業経営者等を対象とした経営戦略、マーケティング及びファイナンス等を学ぶ経営塾の開催

### ・事業の成果と課題

#### 指標の達成度

計画通り

- ・HI-Cube入居ベンチャー等に対し、賃貸補助、専門家による経営・技術支援等を行い、開発テーマの事業化や新事業展開や新分野への進出を促進させることができた。
- ・広報はままつや新聞報道、各種セミナー開催等を通じて、「はままつ起業家カフェ」の周知を図った。その結果、はままつスタートアップ体制下において、創業支援を受けた延べ人数(人)については、目標の1,200人に対し、令和元年度実績3,455人であり目標を大幅に上回る状況で推移している。創業支援事業に伴う新規創業(法人)についても令和元年度実績130人(目標120人)となり目標を達成している。
- ・ファンドサポート事業をはじめ、ベンチャーの成長を支援するための各種支援策を実施した結果、市内ベンチャー企業が資金をVCから獲得することができた。

### ・事業の見直し

#### 実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

入居するベンチャー企業に対し、貸室等の賃料補助、経営・技術支援等を行い、事業化や新事業展開等を促進した。はままつ起業家カフェの延相談件数は1,201件と前年度並み、新規創業者数は114件と前年度実績を上回り順調な事業展開を図ることができた。事業費および人工を拡大し、今年度新たにファンドサポート事業(3社に交付金交付)、実証実験サポート事業(5社採択)、ベンチャー経営塾(14名受講)、ベンチャーアドバイザー事業(2名委嘱)を実施した。情報発信事業では、計4回の情報発信を行い、すべて15000PVを達成した。

#### 今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

創業支援として、HI-Cube入居者への専門家による経営・技術支援等、入居促進活動を強化するとともに、創業希望者のニーズの増加に対し、より効率的な運営を図るため、各種支援機関との連携体制をより強化する。また、ベンチャー企業の成長を加速させるため事業費を拡大し、地方創生交付金を活用しながら、ヒト・モノ・カネ・情報等の総合的支援に取り組んでいく。令和2年2月に策定した「スタートアップ戦略」に基づき政策を推進し、その中で新規事業として、「DX推進事業」「ものづくり×ベンチャーによるイノベーション創出促進事業」を実施する。

**補助シート** (事業名) 創業支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業セミナー</li> <li>・起業サロン</li> <li>・起業実践サロン</li> <li>・創業支援相談窓口</li> <li>・創業支援補助金</li> <li>・情報発信</li> <li>・はままつスタートアップ協議会・幹事会の運営</li> <li>・はままつ起業家カフェの施設維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業セミナー</li> <li>・起業サロン</li> <li>・起業実践サロン</li> <li>・創業支援相談窓口</li> <li>・創業支援補助金</li> <li>・情報発信</li> <li>・はままつスタートアップ協議会・幹事会の運営</li> <li>・はままつ起業家カフェの施設維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業セミナー</li> <li>・起業サロン</li> <li>・起業実践サロン</li> <li>・創業支援相談窓口</li> <li>・創業支援補助金</li> <li>・情報発信</li> <li>・はままつスタートアップ協議会・幹事会の運営</li> <li>・はままつ起業家カフェの施設維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業セミナー</li> <li>・起業サロン</li> <li>・起業実践サロン</li> <li>・創業支援相談窓口</li> <li>・創業支援補助金</li> <li>・情報発信</li> <li>・はままつスタートアップ協議会・幹事会の運営</li> <li>・はままつ起業家カフェの施設維持管理</li> </ul>
8	ファンドサポート事業	ファンドサポート事業	ファンドサポート事業	ファンドサポート事業

## 事業シート (事業名) 首都圏ビジネス情報センター事業

### ◇事業目的・事業対象

首都圏において、本市のビジネス情報収集・発信に関する活動拠点を設置し、積極かつ機動的にベンチャー企業や工場・研究所誘致、UIターン促進活動などを行うことで、企業および人材の首都圏一極集中を食い止め、本市の次代を担う企業・人材の確保を目指す。

### ◇事業の概要

#### 【R1-R4重点戦略項目No.10】

#### ①ベンチャー企業誘致

・首都圏において、ベンチャー企業をテーマとしたフォーラムを開催し、首都圏のベンチャー企業に対する本市のPR、また、市内や首都圏において定期的に開催する地元ベンチャー企業の交流会へ首都圏ベンチャー企業の参加を促し、市内企業とのマッチングへ繋ぐことを通じて、ベンチャー企業の誘致につなげる。  
 ・本市企業とのマッチングによる新事業展開を後押しするため、企業訪問による本市情報の提供や、企業情報の収集等の活動を通じて首都圏のベンチャー企業を誘致する。

#### ②工場・研究所誘致

首都圏を中心とした優良企業の工場、研究所を新・産業集積エリアに誘致し、新規雇用の創出など本市経済の活性化を促進する。

#### ③産業人財獲得支援

市内の中小企業と首都圏在住の学生を対象とした就職マッチング会の実施、大学訪問による本市情報提供などを通じてUIターンを促進し、本市の次代を担う人材を確保する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28		一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	23,718	14,012				
	決算	19,434					
	国・県支出						
	市債						
	その他	391					
	一般財源	19,043	14,012				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		14,000	14,000				
人工	正規	2.0	2.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.2	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

首都圏のベンチャー企業を誘致することにより、本市企業とのマッチングによる新事業展開を後押しすることを目的としており、新事業展開による多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成することができる。



◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
企業、大学等の訪問件数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	400	350	550	550	550	550	550
実績値	430	563					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.10】

- ベンチャー企業誘致…1)首都圏において、ベンチャー企業を対象としたフォーラムを開催し、首都圏のベンチャー企業に対する本市のPRを通じて、ベンチャー企業の誘致につなげる。2)本市企業とのマッチングによる新事業展開を後押しするため、企業訪問による本市情報の提供や、企業情報の収集等の活動を通じて首都圏のベンチャー企業を誘致する。
- 工場・研究所誘致…首都圏を中心とした優良企業の工場、研究所を新・産業集積エリアに誘致し、新規雇用の創出など本市経済の活性化を促進する。
- UIJターン就職支援…市内の中小企業と首都圏在住の学生を対象とした就職マッチング会の実施、大学訪問による本市情報提供などを通じてUIJターンを促進し、本市の次代を担う人材を確保する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ベンチャー企業誘致…1)都内にて、1月21日にベンチャー企業を対象とした「浜松市ベンチャーフォーラム」を開催した。94名を集客し、首都圏のベンチャー企業に本市のPRを行った。また今年度はコミュニティ型ワークスペースWeWorkを試験的に活用し、会員企業とのネットワーク構築により首都圏ベンチャー企業等への効果的な誘致活動を進めるための効果検証をするとともにベンチャー企業の誘致活動を行った。2)本市企業とのマッチングによる新事業展開を後押しするため、563件の首都圏の企業を訪問し、本市情報の提供、企業情報の収集等を通じて首都圏のベンチャー企業の誘致活動を行った。
- 工場・研究所誘致…首都圏を中心に優良企業の工場、研究所を40件訪問し、誘致活動を行った。
- UIJターン就職支援…市内中小企業と首都圏在住の学生との就職マッチング会の実施等3件の活動を行った。



・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

昨年度は企業訪問数の1か月毎の達成率の管理やアドバイザーの勤務日数を週4日以上と増加させ積極的な活動に繋げた成果もあり、目標値を達成することができた。本年度は更にアドバイザーの主たる勤務場所を東京事務所内に留まらず、都内コワーキングスペースにおける勤務も含め、更なる都内企業開拓に力を入れたこと、コミュニティ型ワークスペースWeWorkの試験的活用により目標数値をはるかに超える件数を達成することが出来た。積極的な企業誘致活動により、複数の首都圏等IT系ベンチャー企業が市内進出を検討中。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

ベンチャー企業の誘致、新産業集積エリアへの工場・研究所の誘致、UIJターン就職支援を進めるため、これまで以上に積極的に企業等と接触していく。また、首都圏企業が浜松地域企業とのマッチング(新規の取引開始)を求めていることが多いことから、土地情報以外の市内企業情報についても浜松地域イノベーション推進機構と連携を取りながら提供していく。情報発信の方法については、WeWorkのコミュニティを活用することも含め、効果検証していく。

令和2年度

(管理番号)  
0101040100170200002

(担当課)  
産業振興課

(責任者)  
村上 広幸

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 補助シート (事業名) 首都圏ビジネス情報センター事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
10	ベンチャー企業誘致、工場・研究所誘致、UIJターンの促進など	ベンチャー企業誘致、工場・研究所誘致、UIJターンの促進など	ベンチャー企業誘致、工場・研究所誘致、UIJターンの促進など	ベンチャー企業誘致、工場・研究所誘致、UIJターンの促進など

## 事業シート (事業名) ベンチャー企業誘致事業

### ◇事業目的・事業対象

大都市圏をはじめとするベンチャー企業のサテライトオフィスを本市に誘致し、ものづくりに特化した本市の産業技術との融合を図り、新製品の開発、生産効率の向上、創業者の増加や新たな産業・ビジネスの創出につなげるとともに、地方への雇用や人材の流れを創り出す。

### ◇事業の概要

- ①はままつトライアルオフィス運営事業…都心部のワーキングスペースを運営し、ベンチャーコミュニティの活性化等を図るとともに、ベンチャー誘致につなげる。  
 <◆場所: サザンティ浜松中央館4階(利用時間 10:00~20:00) ◆座席数: 最大30席(約69㎡)>  
 ②舞阪サテライトオフィス運営事業…浜名湖周辺地域のサテライトオフィスを運営し、市外ベンチャーの誘致につなげる。  
 <◆場所: 舞阪協働センター4階 ◆部屋数: 事務室6室(約30~50㎡) 共有スペース1室、管理人室1室>  
 ③天竜トライアルオフィス…中山間地域のワーキングスペースを運営し、中山間地域における新しいビジネスの創出やベンチャー誘致につなげる。  
 <◆場所: 天竜区二俣町二俣1283-1 ◆座席数: 最大30席>  
 ④テレワーク推進事業…テレワークに関連する民間事業者と連携し、「テレワークをしやすいまち」としての情報発信を行うことで、市外企業の人材を本市に呼び込み、市外ベンチャー企業等の誘致につなげる。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29		一般会計	自治事務(その他)	浜松市舞阪サテライトオフィス条例等	○	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	31,209	27,001				
	決算	27,736					
	国・県支出		6,061				
	市債						
	その他	1,458	2,294				
	一般財源	26,278	18,646				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		7,000	6,160				
人工	正規	1.0	0.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.7				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.1、8.2、8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

首都圏ベンチャー等の技術やアイデアと既存産業の融合によるイノベーション創出を通じて、地域経済の成長を目指す。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
サテライトオフィス誘致企業数(社)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3	2	3	誘致完了			
実績値	3	0	3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
首都圏等から誘致したベンチャー企業数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	1	4	6	8	10	12
実績値	—	R2.8頃確定					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
I-1(3)ア							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①はままつトライアルオフィス運営事業  
 都心部のコワーキングスペースを運営し、市外ベンチャーの利用や地元企業の活用を通じて、ベンチャーコミュニティの活性化や新たなネットワークの創出を図るとともに、本市への誘致につなげる。  
 □場 所 ザザシティ浜松中央館 4階(利用時間 10:00~20:00)  
 □座 席 数 最大30席(約69㎡)
- ②舞阪サテライトオフィス運営事業  
 浜名湖周辺地域のサテライトオフィスを運営し、市外ベンチャーの誘致につなげる。  
 □場 所 舞阪協働センター 4階  
 □部 屋 数 事務室6室(約30~50㎡)共有スペース1室、管理人室1室
- ③中山間地域トライアルオフィス  
 天竜区二俣地域にベンチャーが利用できるオフィスを整備し、施設運営を行う。当施設を通じ、中山間地域へのベンチャーの進出や新たなビジネス創出を目指す。

・事業の成果と課題

指標の達成度  
計画通り

・令和2年1月に「天竜トライアルオフィス」をオープンした。  
 ・「はままつトライアルオフィス」および「舞阪サテライトオフィス」の運営を通じて、首都圏を中心とするベンチャー企業の誘致に取り組んだ。  
 ・「はままつトライアルオフィス」に運営について9月よりイベント開催による集客等を委託内容に含めるなど、運営方法を変更した結果、登録企業数は251社(うち市外96社)、利用者数は延べ2,514人、イベント開催数47回となった。  
 ・「舞阪サテライトオフィス」の入居状況は3社(4室)。令和2年7月に5社(6室)となる予定。※全6室

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・「はままつトライアルオフィス」は、イベントや広報の強化等により、登録企業数の増(184→251)や利用者数の増(1,471→2,514)につなげることができた。
- ・「舞阪サテライトオフィス」は、首都圏BCを中心とした誘致活動により、全室入居の目途がついた。前年に整備が終了し、今年度は管理運営のみとなったために事業費は縮小した。
- ・「天竜トライアルオフィス」は、整備を終え、運営を開始することができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・「はままつトライアルオフィス」は、にぎわいを創出するために、引き続きイベントや広報を強化していく。
- ・「舞阪サテライトオフィス」は、全室入居を目指して誘致活動を進める。
- ・「天竜トライアルオフィス」は、認知度の向上および利用者の増加に向けて、イベントや広報を強化していく。整備が終了したため、事業費の縮小が見込まれる。地方創生交付金の活用により、市経費の負担を見直す。

## 事業シート (事業名) 産業振興運営経費(一般諸経費のみ)

### ◇事業目的・事業対象

産業振興課業務を円滑に進める。

### ◇事業の概要

産業振興課業務における組織運営経費。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23		一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,142	2,598				
	決算	3,759					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,759	2,598				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		18,900	24,500				
人工	正規	2.7	3.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

産業振興課業務における組織運営経費。

・事業の成果と課題

指標の達成度